開発教育指導者研修実践報告

暮らしを見つめよう！
～SDGs for Utsunomiya～

栃木県宇都宮市立宮の原中学校　仙波　千浩

課題学習の単元計画（中学３年・総合）

①SDGsを知ろう

　ユニクロ「服のチカラプロジェクト」への参加

②SDGsから考えよう（本時）

③フォトレポート作成

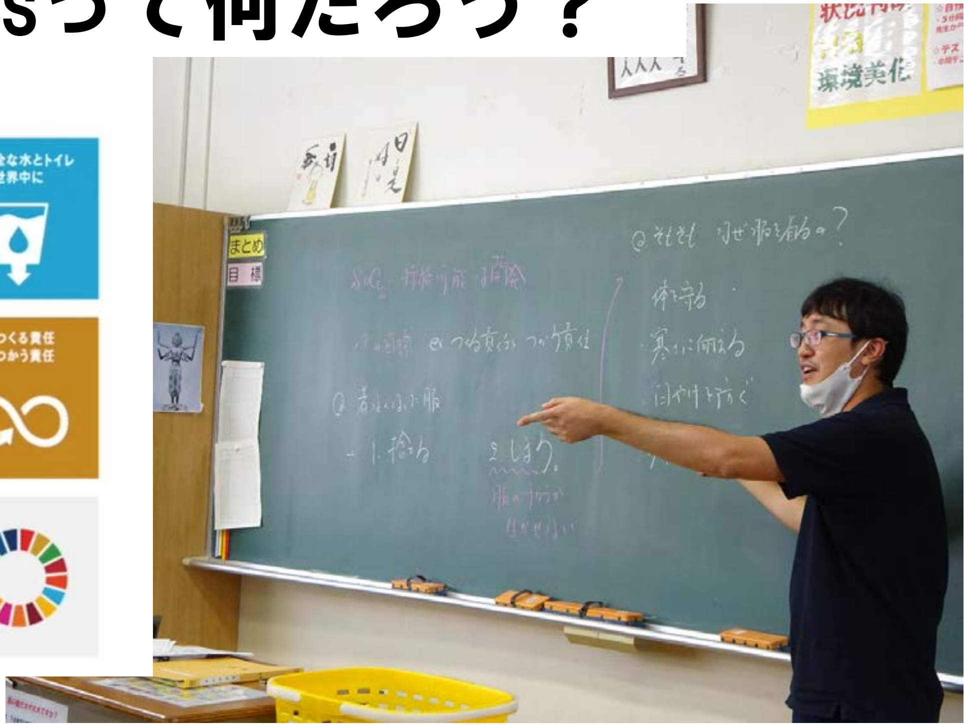
④ポスター作成

単元のねらい

- 自分たちの暮らしと発展途上国とのつながりを知り、SDGsと関連付けて理解する。（知識・技能）
- 学校に行けないことがもたらす問題について考え、自分の思いや考えを述べることができる。
  （思考・判断・表現）
- SDGsのゴールについて発信し、地域に関わろうとする。
  （学びに向かう意欲）

本時に入る前に…
ユニクロ「服のチカラ」プロジェクトへの参加

SDGsって何だろう？



（本時）SDGsから考えよう
暮らしの中に潜む課題とは…？

私たちの服ってどこで作られてるの？

A　ベトナム

B　インドネシア

C　カンボジア

私の服を作っている国の人はどんな生活をしているのだろう？

写真を見て気づいたことを話し合う

↓

SDGsのどのゴールと関連するか考える

外国で暮らす子供たちが
どんな生活をしているのか
を本気で想像してみる
（学びに向かう意欲）

引用元：
JICA photo library
NGO団体「ACE」

こんにちは。僕の名前はアラン。アフガニスタンに住んでいます。
毎朝学校へ行く前に水くみをしています。僕の家は丘の上にあるから、水を運ぶのは大変です。
でも、丘の上からの眺めがいいから僕は自分の家が気に入っています。
朝、家の手伝いをしてから学校に行くから遅れそうになることもあるけど、学校はとても楽しいから大好きです。日本の皆さんはどんな手伝いをしていますか？
（撮影:Sayad Jan Sabawoon/ JICA）

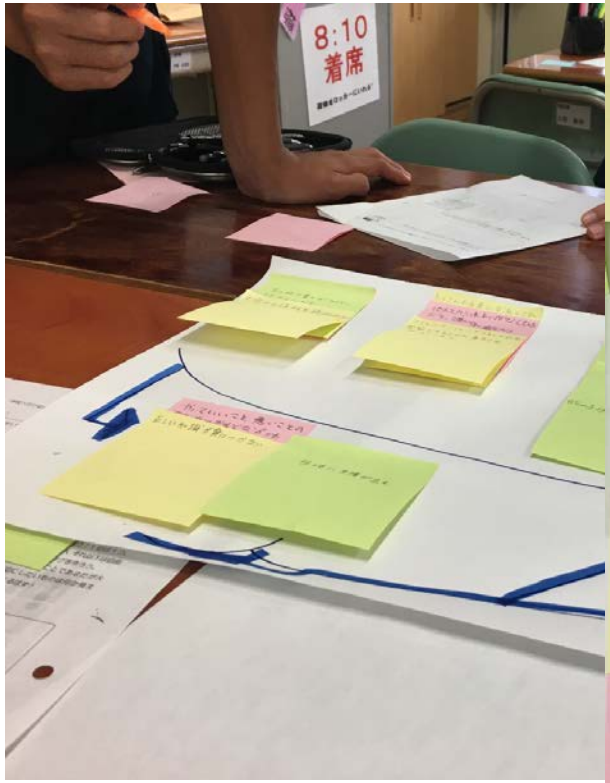
様々なゴールが関わっている！

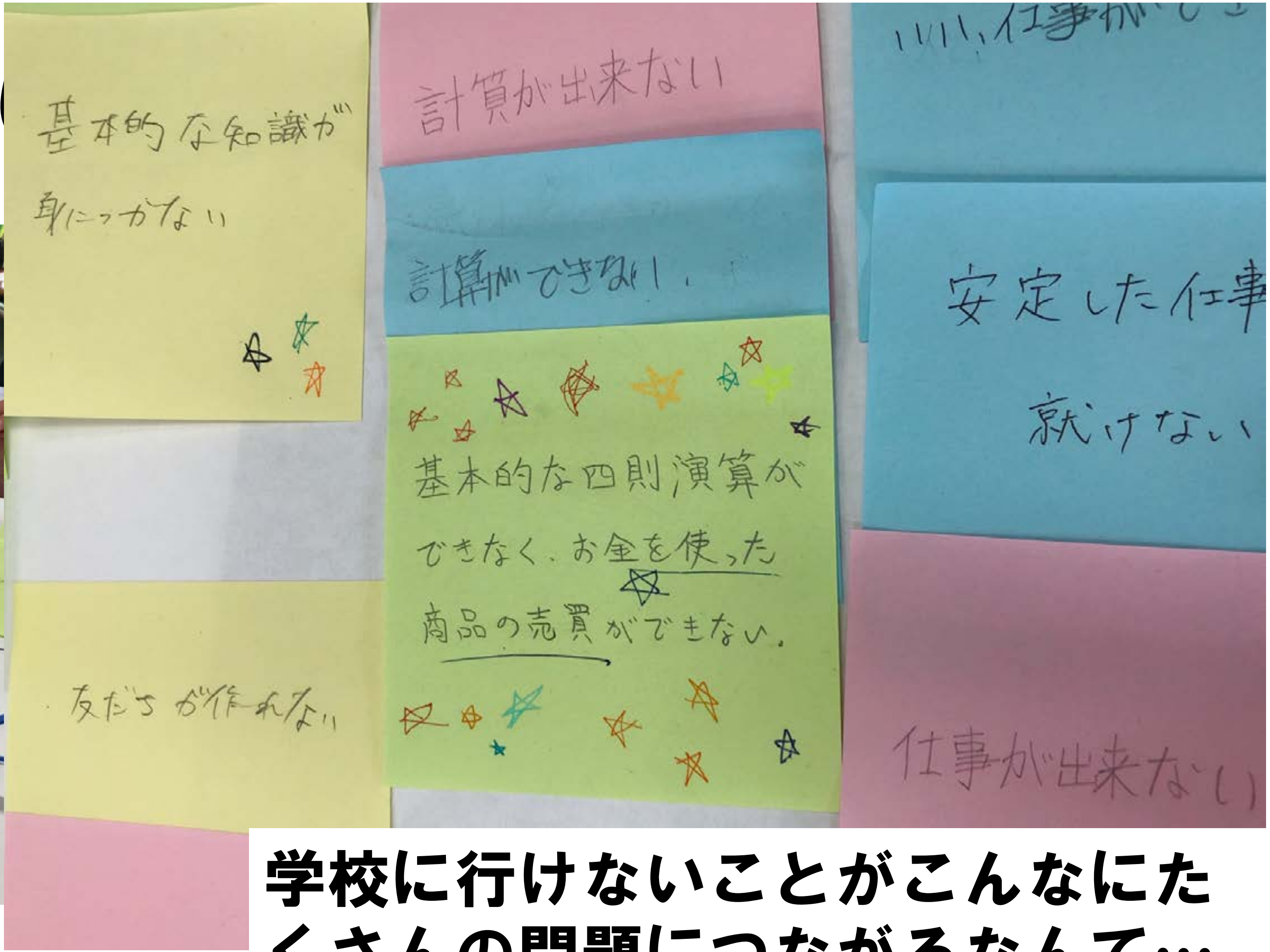
やってみよう！

「学校に行けない」のカードを一番目に置き、そこからどのようにつながっていくかを考えてみましょう。項目がない場合や足りない場合には、白紙のカードに書き込んで、新しいカードを作りましょう。

学校に行けない	収入が少ない	働くための技術や能力が身に付かない
仕事ができない	食料が買えない	自分の子どもも学校に行けない
収入の安定した仕事に就けない	病気になりやすい	学校に行く時間がない
読み書きができない	十分な栄養が摂れない	子どもが親の手伝いをしなければいけない

学校に行けな





学校に行けないことがこんなにたくさんの問題につながるなんて…

他の国では同年代の子でも学校に行けないなんて…
農園で働いてる子を助けられたらいいのに…
知らないところで起きていることでも他人事ではないんじゃないかなぁ
SDGsについてもっと知ってもらう必要がある！

SDGsフォトレポート

3−（6）

タイトル

プラスチックごみの問題に取り組む日本の姿

（写真1）▲プラスチックごみが多く捨てられている日本の海岸。

▲紙パッケージになったkitkat（写真2）

プラスチックごみ 800万トン/年 ≒ スカイツリー 222基

▲世界の海に流れこむ海洋プラスチックごみの量（図1）

▲日本で捨てられているプラスチックごみの内訳

撮影場所・引用元

写真1：satisfactory

写真2：GiFT

〈関係するSDGsのゴール〉

3 すべての人に健康と福祉を

汚染物質が付着したプラスチックを摂取した魚介類を食べるのは私たち、人間だから。人体に悪影響がでてしまう。

私たちが正しく捨てをしなければプラスチックは海に流れない！

14 海の豊かさを守ろう

プラスチックが海に流れてしまうと海の生態系に影響を与えてしまうから。

魚たちが食べたら死んでしまう…

マイクロプラスチック

12 つくる責任 つかう責任

海洋プラスチックごみ問題に対応するにはプラスチックのごみの削減が必要なので、つくる側はプラスチックから紙の素材に変えるなどの取り組みを行う。

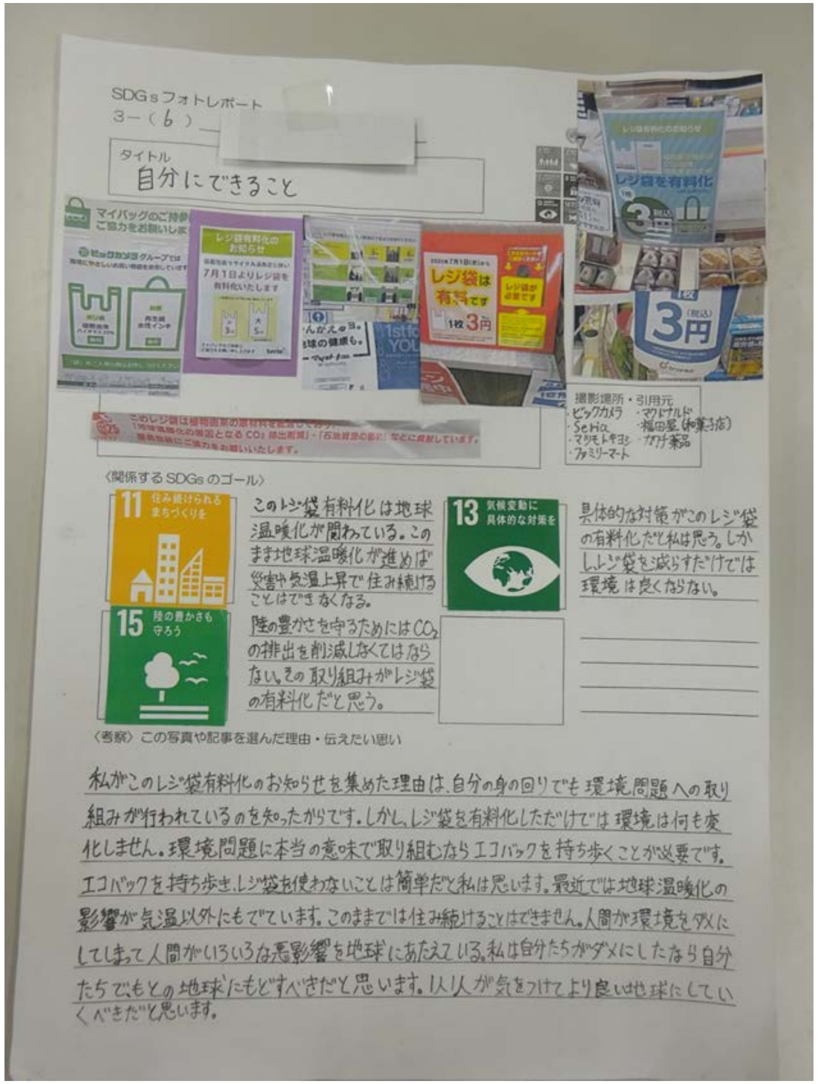
私たち消費者は環境に良い商品を選ぶことができる…！

15 陸の豊かさも守ろう

プラスチックを燃やすと有害な物質などが発生して、環境、人間に影響がでてしまうから。

〈考察〉この写真や記事を選んだ理由・伝えたい思い

私は、写真1のように、日本の海岸がプラスチックごみがたくさんおちている現状を知ってほしいです。しかも、世界規模にもなると海には800万トンのプラスチックごみが流れこんでいます（図1）。実は"プラスチックごみの削減"に目を向けた会社があります。kit katで有名なネスレです。図2をみてわかるように、包装などの使い捨てのごみの量は半分を占めています。そこでネスレはkit katの包装を紙にかえました。「少しでも減らしたい」という思いがきっと、プラスチックごみを減らす一歩になるのではないかと私は考えます。例えば、買い物の際に、環境を配慮した商品を選ぶなど、私たちができる小さなことをしていくべきだと思います。



SDGsフォトレポート

3−（6）

タイトル

自分にできること

撮影場所・引用元

・ビックカメラ ・マクドナルド

・Seria ・福田屋（和菓子店）

・マツモトキヨシ ・カワチ薬品

・ファミリーマート

〈関係するSDGsのゴール〉

11 住み続けられるまちづくりを

このレジ袋有料化は地球温暖化が関わっている。このまま地球温暖化が進めば災害や気温上昇で住み続けることはできなくなる。

15 陸の豊かさも守ろう

陸の豊かさを守るためにはCO_2の排出を削減しなくてはならない。その取り組みがレジ袋の有料化だと思う。

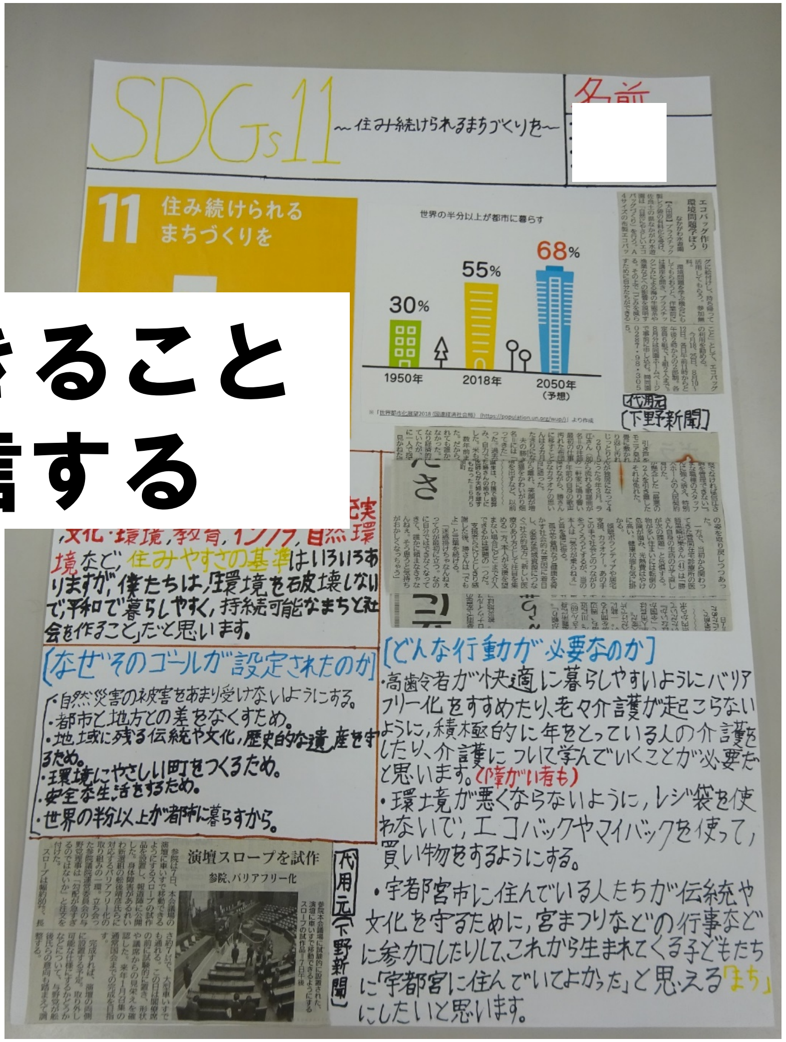
13 気候変動に具体的な対策を

具体的な対策がこのレジ袋の有料化だと私は思う。しかしレジ袋を減らすだけでは環境は良くならない。

〈考察〉この写真や記事を選んだ理由・伝えたい思い

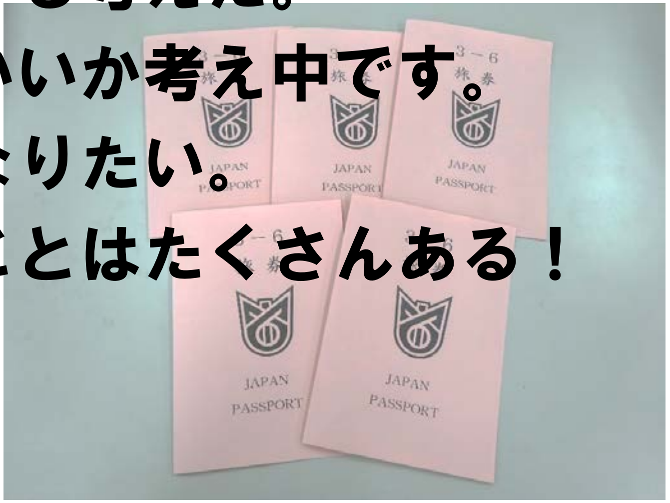
私がこのレジ袋有料化のお知らせを集めた理由は、自分の身の回りでも環境問題への取り組みが行われているのを知ったからです。しかし、レジ袋を有料化しただけでは環境は何も変化しません。環境問題に本当の意味で取り組むならエコバックを持ち歩くことが必要です。エコバックを持ち歩き、レジ袋を使わないことは簡単だと私は思います。最近では地球温暖化の影響が気温以外にもでています。このままでは住み続けることはできません。人間が環境をダメにしてしまって人間がいろいろな悪影響を地球にあたえている。私は自分たちがダメにしたなら自分たちでもとの地球にもどすべきだと思います。1人1人が気をつけてより良い地球にしていくべきだと思います。

自分たちにできることを見つけ、発信する



生徒の変容（振り返りコメントから）

・いろいろな国に行ってみたくなった。
・ニュースを見るときにいろいろ考えるようになった。
・英語がもっと話せるようになりたいと思った。
・世界の大きな問題も自分と関係していると思うようになった。
・世界のことだけでなく、自分の生き方についても考えた。
・勉強したことを周りに伝えるにはどうしたらいいか考え中です。
・小さくてもいいから誰かのためになれる人になりたい。
・日本を変えるのは難しいけど、自分にできることはたくさんある！



学校アンケートの結果

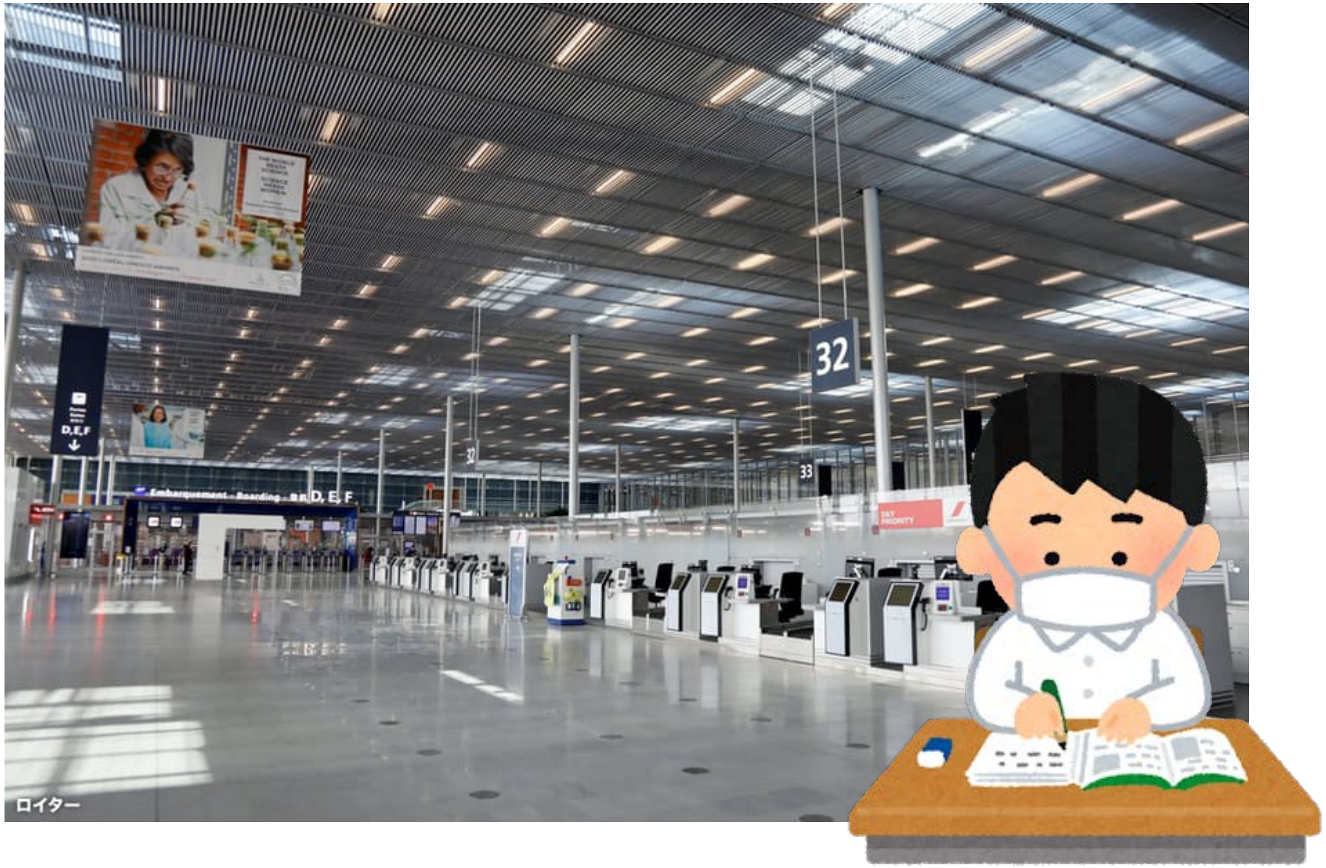
「生徒は持続可能な社会について関心を持っていますか？」

教職員：前年度39.5％→56.3％

生徒：前年度70.1％→74.1％

3年生では80％を超える結果に！

事前研修での学び

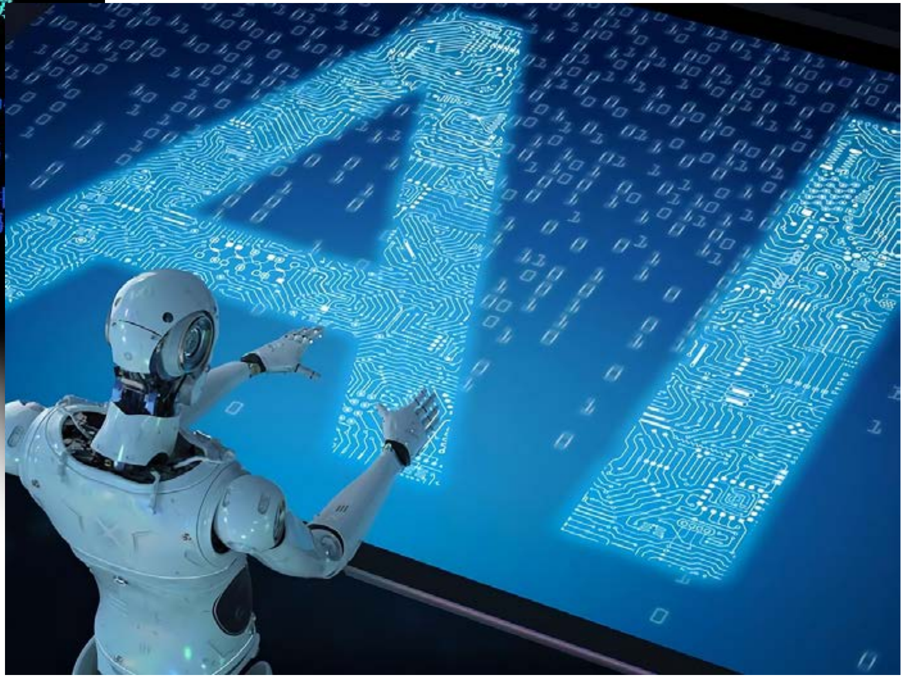


新学習指導要領の要求とは…

持続可能な社会の担い手の育成

学びに向かう力を育む

今と未来を見据えて…



指導案作成での学び「汎用性」

~~既存の教材を使えば~~
~~誰もが実践しやすい授業になる！~~

本当にその教材が授業においてねらいを
達成できるか吟味しなければならない！！

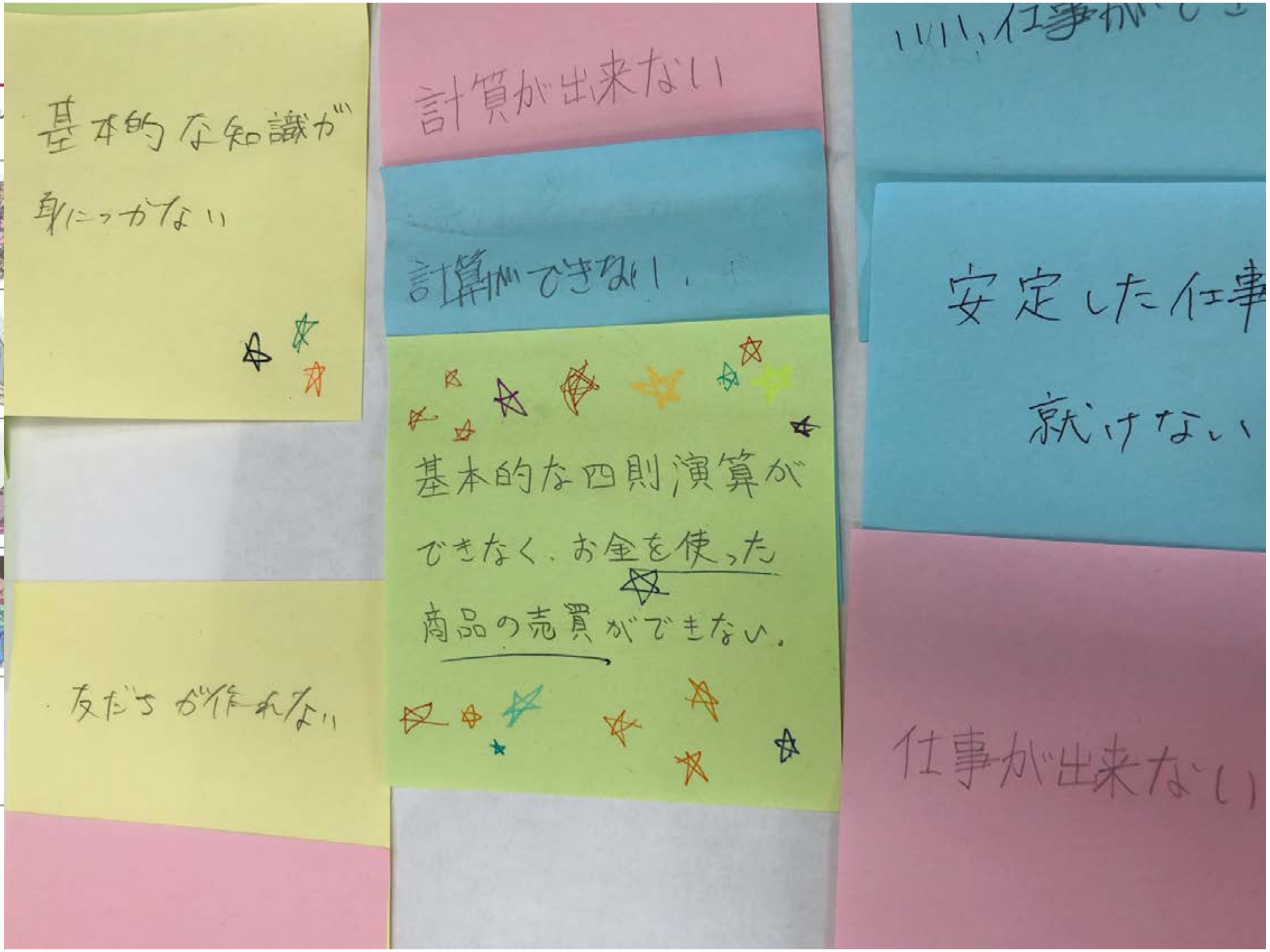
その上で他の先生方にわかりやすく発信し
ていくことができなければならない！！

私自身が「汎用性」のある授業
の作り手となる！！

やってみよう!

「学校に行けない」のカードを一番目に置き、そこからどのようにつながってい
には、白紙のカードに書き込んで、新しいカードを作りましょう。

学校に行けない	収入が少ない
仕事ができない	食料が買えない
収入の安定した仕事に就けない	病気になりやすい
読み書きができない	十分な栄養が摂れない



授業実践において…「SDGsは難しい？」

8月28日（金）の総合について

内容「SDGsについて知ろう！」（5・6校時）

前日までに

・教科連絡では、「のり、はさみ」を持

授業について

クラスの実情などによって話し合いや

活動①「フォトランゲージ」

・写真を見てどのSDGsのゴールと関

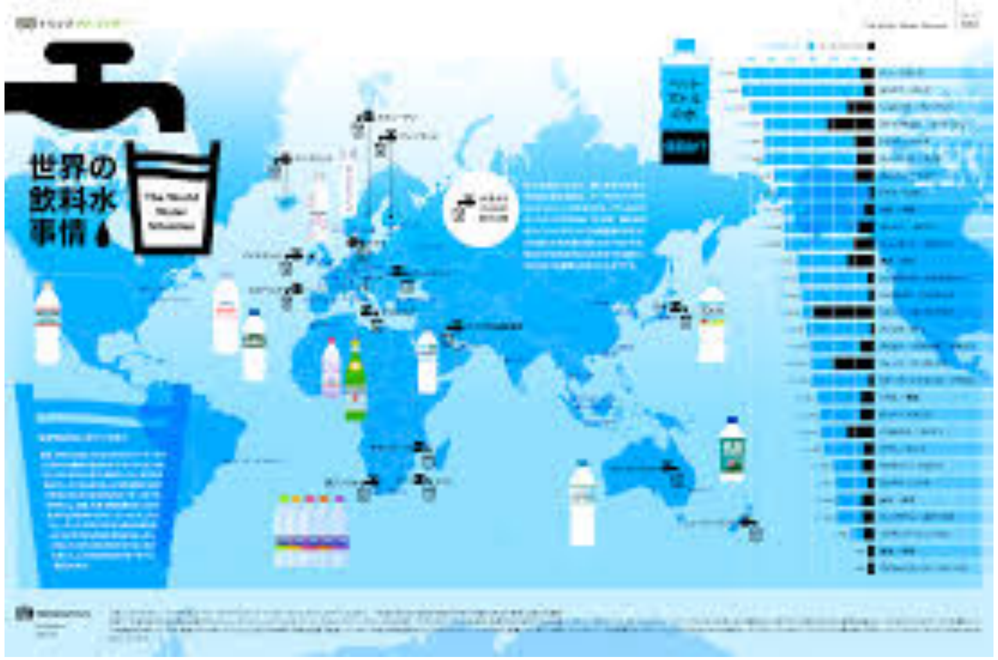
SDGsカード（各クラスに配布）、写

（写真が見にくいので前に貼って見

写真データは学年フォルダにも入っ

	A	B	C
資料の多様性・確かさ	集めた資料に偏りがなく、確かなものである。（個人のブログやデータが１０年以上前のものなどではない。）	集めた資料に偏りがなく、出所が明らかなものである。	資料を参考にせず、自分たちの意見をまとめただけである。
レイアウト	わかりやすいポスターになるよう、絵や写真、記事などを活用している。	わかりやすいポスターになるよう色使いを工夫している。	ポスターメモでまとめたことをただ書き写しただけである。
わかりやすさ	難しい言葉をわかりやすい言葉に言い換えるなど、工夫している。	難しい言葉をなるべく使わず、簡単にまとめている。	資料を書き写しただけである。
持続可能性	具体的な行動を呼び掛ける際、なぜその行動が必要なのかをわかりやすく説明しながら具体例を出している。	具体的な行動を呼び掛ける際、誰にでもできるわかりやすい例を出している。	行動例が具体的でなく、実現の可能性が低いものばかりである。

効果的に知識を身につけさせる



授業実践での学び「ジブンゴト」

つながりを持つ、楽しい活動だけでは「ジブンゴト」には及ばない！！

「ジブンゴト」にするには

胸が締め付けられるほど考えさせられる発問が必要なのではないか

私の名前はミア。ザンビアに住んでいます。
私は学校が大好き。でも、授業が２時間しかないのが残念です。教室と先生が足らないから、午前と午後で入れ替えて授業を受けています。
授業がないときには、外で補習をしています。年上のお姉さんたちが勉強を教えてくれることもあります。
将来は学校の先生になりたい
生が増えればもっと授業が受
将来の夢は何ですか？
（撮影：Atsushi Shibuya/ J

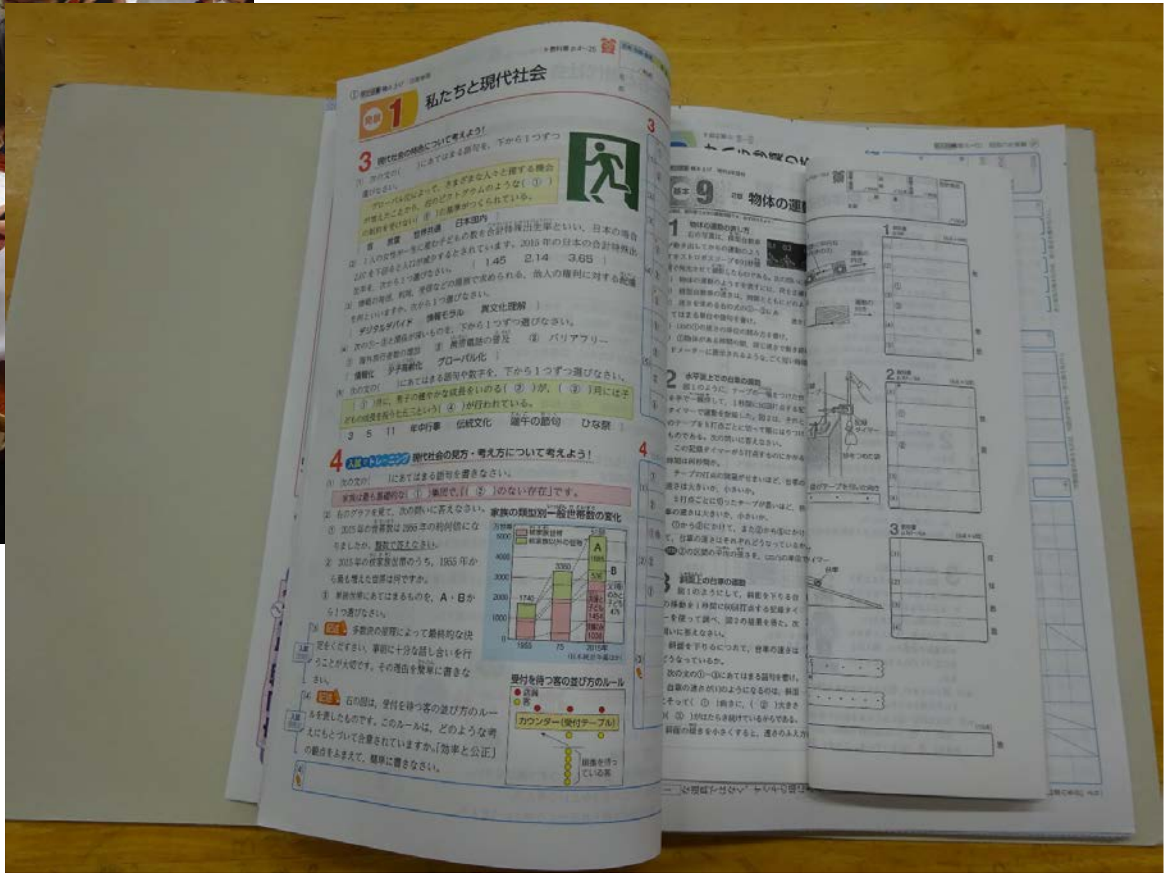
一歩踏み込んだ発問づくり

・日本に生まれてよかったなぁ
・自分は恵まれていてよかったなぁ
にとどまらないように…

道徳、教科の授業で
「異文化に肯定的に出会う」
楽しい活動を

そこには**人**がいて、
私たちと同じように生活が営まれている

「ジブンゴト」とするために
誰かを思って本気で考えられる
発問づくり


私たちと現代社会
物体の運動
家族の類型別一般世帯数の変化
受付を待つ客の並び方のルール
カウンター（受付テーブル）

ご静聴ありがとうございました